

産婦人科病棟



助産師

瀧 真弓 井上 梢
堀井 泉 長坂 桂子

パートナーからの暴力に悩んでいませんか？



当院では、品川区の1/4の赤ちゃんが誕生しています。赤ちゃんも、お母さんも、家族も、安心して健やかに過ごされますよう、日々の看護に取り組んでおります。

女性の7人に1人は経験者

ほっと安心できて元気がわき、何でも話せる家族。ところが、家族の中で起こる悲惨なニュースも毎日のように報道され、心が痛みます。パートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス)もその一つです。

私たち助産師は、妊婦健診やお産の入院を通して、母となる女性と関わる機会が多くあります。頻度は少ないですが、信頼関係ができてくると「夫から殴られた」「いつも監視されている」「怒鳴られて怖い」などの相談を受けることがあります。おなかの赤ちゃんに悪い影響はないか、心配されている方もいました。また、暴力を受けて困っていても、夫婦間のことだから相談しにくく、表面化しにくい現実があることがわかりました。

文献を調べると、女性の7人に1人は「パートナーから

身体的暴力を受けた経験がある」との報告があり、正直言って驚きました。ニュースになったり相談されたりするケースは一部であり、とても身近な問題だったのです。

必要な支援情報を提供しています

そこで私たちは最新の研究結果に基づき、産後入院中のすべての患者さんに「女性に対する暴力スクリーニング」に記入していただく取り組みを開始しました。

結果が陽性だった方には、プライバシーが保たれる個室でお話をお伺いし、必要な支援情報を提供しています。その際、女性の立場に立ち、安心して話せる雰囲気になるよう心がけています。

また、院内の数箇所に支援情報が書かれたパンフレットを設置し、院内職員に対しては、専門家を招いてドメスティック・バイオレンスについての勉強会を開催しました。産婦人科だけでなく、病院全体でも必要な知識であると感じたからです。これは、まだまだ先駆的な取り組みではありますが、その重要性を実感する毎日です。

女性に対する暴力スクリーニング尺度

片岡弥恵子氏作成

	よくある	たまにある	全くない
あなたとパートナーの間でもめごとが起こったとき、話し合いで解決するのは難しいですか？	2点	1点	0点
あなたは、パートナーのやることや言うことを怖いと感じることはありますか？	2点	1点	0点
あなたのパートナーは、気に入らないことがあるとあなたを大きな声で怒鳴ったりすることがありますか？	2点	1点	0点
あなたのパートナーは、気に入らないことがあると怒って壁をたたいたり、物をなげたりすることがありますか？	2点	1点	0点
あなたは、気が進まないのにパートナーから性的な行為を強いられることがありますか？	2点	1点	0点
あなたのパートナーは、あなたを殴る、けるなどの暴力をふるうことがありますか？	3点	2点	0点

2点以上で陽性。 プライバシーに十分配慮し、この内容がご家族の方に漏れることはありません。

看護部よりこんにちは

— 私たちが患者さんのケアをしています —

